

かべ あな だい いち わ 壁の穴、第一話



はら へ ぼく の ふとん
「腹 減った〜！」と、僕は 伸びを した。そして 布団から
おきあ かべ あな うすぐら ぼく となり
起き上がった。壁の穴の中は、まだ薄暗かった。僕の隣の
ふとん いもうと ねむ とうちゃん
布団で、妹は まだ ぐっすりと 眠って いた。父ちゃんと
かあちゃん お ぼく
母ちゃんも、まだ 起きて いない ようだった。でも、僕の
おなか ぐう な あさ さが
お腹は グーっと 鳴って、「そろそろ、朝ごはんを 探しに
い じかん し
行く時間だ」と知らせていた。

ぼく たち いえ かべ うら せま こうどう ぼく かべ
僕達の 家は、壁の 裏の 狭い 空洞だ。僕は、その 壁の
ちい あな かお みぎ ひだり
小さな 穴から、そっと 顔を出した。そして、右と 左を
かくにん かべ あな けっ おと
ゆっくりと 確認 した。壁の 穴の 外では、決して 音を
た めだ こうどう きんし かべ
立てては いけない。目立つ 行動も 禁止だ。そして、壁の
あな もと く けっ だれ
穴に戻って来る時は、決して誰にも見られてはいけない。
かべ あな ぼく いえ おきて
これが、この壁の穴のルール。そう、僕の家のだねだ。

ここに引っ越^{ひっこ}して来^きたのは、ちょうど 3 か月^{かげつ} 前^{まへ}だった。
前に 住^すんで いた 穴^{あな}は、ここよりも かなり 狭^{せま}かった。
遊^{あそ}べる スペースなんて、全^{まった}く なかった。そして、妹^{いもうと} 達^{たち}が
3 匹^{びき}も 生^うまれて、も^{きゆうくつ}っと 窮屈^{きゆうくつ}にな^{にんげん}った。そんな 時^{とき}、人^{ひと}間^{かん}に
見^みつかってしま^{しま}ったんだ。

Vokabular

Bitno

眠る <i>glagol (五)</i> • spavati	ねむる	音を立てる <i>glagol (一)</i> • oglasiti se	おとをたてる
探す <i>glagol (五)</i> • tražiti	さがす	目立つ <i>glagol (五)</i> • isticati se, odstupati	めだつ
探しに <i>fraza</i> • u potrazi za	さがしに	行動 <i>imenica, suru-glagol, no-pridjev</i> • pokret, ponašanje	こうどう
知らせる <i>glagol (一)</i> • obavjestiti	しらせる	禁止 <i>imenica, suru-glagol</i> • zabrana	きんし
顔を出す <i>fraza, glagol (五)</i> • pokazati se	かおをだす	全く <i>prilog</i> • uistinu	まったく
確認 <i>imenica, suru-glagol</i> • potvrda	かくにん	窮屈 <i>imenica, na-pridjev</i> • skučen	きゅくつ
決して <i>prilog</i> • nikad	けっして		

Ostalo

壁 <i>imenica</i> • zid	かべ	伸び <i>imenica, suru-glagol</i> • istezanje	のび
穴 <i>imenica</i> • rupa	あな	布団 <i>imenica</i> • futon	ふとん
第 <i>prefiks</i> •	だい	起き上がる <i>glagol (五)</i> • ustati	おきあがる
一話 <i>brojač</i> • prva epizoda	いちわ	中 <i>imenica, no-pridjev, prilog</i> • unutra	なか
腹 <i>imenica</i> • trbuh	はら	薄暗い <i>i-pridjev</i> • mračan, sumoran	うすぐらい
減る <i>glagol (五)</i> • smanjiti se	へる	隣 <i>imenica</i> • susjed	となり
腹が減る <i>izraz, glagol (五)</i> • postati gladan, kolokvijalno	はらがへる	妹 <i>imenica</i> • mlađa sestra	いもうと
僕 <i>zamjenica</i> • ja, muški	ぼく	父ちゃん <i>imenica</i> • tata	とうちゃん
		母ちゃん <i>imenica</i> • mama	かあちゃん

起きる
glagol (一)
• ustati

おきる

時間
imenica
• vrijeme (period)

じかん

お腹
imenica
• trbuh

おなか

僕達
zamjenica
• mi

ぼくたち

鳴る
glagol (五)
• glasati se

なる

家
imenica
• kuća

いえ

朝ごはん
imenica
• doručak

あさごはん

裏
imenica
• dno

うら

行く
glagol (五)
• ići

いく

狭い
i-pridjev
• uzak

せまい

Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod. Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz samu vijest.

探す ・ 顔を出す ・ 確認 ・ 決して ・ 行動 ・ 全く

2. Odgovorite na pitanja:

- (i) 語り手^{かたりて}は誰だ^{だれ}と思いますか^{おも}？

- (ii) 壁^{かべ}の穴^{あな}の中の住人^{じゅうにん}はいくつですか？

- (iii) 語り手^{かたりて}は何^{なん}をする積り^{つも}ですか？

- (iv) 語り手^{かたりて}の家の掟^{いえ おきて}は何^{なん}ですか？

(v) いつ今の穴に引っ越してきたのですか？

(vi) 前の穴はどんな穴でしたか？

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

眠っていた ・ 探している ・ 探しに ・ 知らせました
顔を出さない ・ 確認して ・ 決して ・ 音を立てた
目立つ ・ 行動 ・ 禁止 ・ 全く ・ 窮屈

- (i) 花子ちゃん、花子ちゃん、昨日いつまで_____？
- (ii) 田中おじいちゃん、うちの犬を_____んだけど、見かけましたか？
- (iii) 明日キノコを_____行く、ポーションに毒キノコを使うから。
- (iv) 先生にこの事は_____か？
- (v) たまには店にも_____と叱られるのさ。
- (vi) 死体を棺桶に入れる前はまだ生きているかどうか_____ください。
- (vii) 私のポテチには_____手を出すな、痛い目に見るよ。
- (viii) 小屋の屋根は雪の重みでミシミシと_____。
- (ix) 林に竹が_____！
- (x) 人間は狂っていれば_____の責任は問われない。
- (xi) 武君は暗い道を歩いているながら変な音を聞いて後ろを向いた、築けば立ち入り_____のサインに囲まれていた。
- (xii) ドラゴンマーテはほかのドラゴンから_____違う生活をしていた。
- (xiii) 列車のコンパートメントはすぐ_____になる。